

自転車利用実態定点調査票

	走行空間				乗種		雨天		危険運転行為							
	車道左側	車道右側	車道中央	歩道	子乗せ	電動	雨	雪	携帯無線機	スピード出しすぎ	片手運転	立ち漕ぎ	に荷物	ハンドル	過積載	その他
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																

調査日時：	平成	年	月	日	()
天気：					区画：
調査時間：			～		

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、17～31%と多岐にわたるが、平均すると23%である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回は、全体の8割弱を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(278件)・ハンドルに荷物(140件)・片手運転(83件/内15件は、携帯電話を使用しながらの運転)・歩道上でのスピードの出しすぎ(54件)・過積載(53件)・子乗せ後部席に荷物掛け(*1)(33件)・車道右側走行(32件)・立ち漕ぎ(23件)・ジグザグ運転(18件)・脇見運転(14件)・車道中央走行(2件)の順となっている。

*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

【総合】

今回は、平成 30 年度第 7 回目の調査となり、前回のデータと様々な点で比較してみた。

- ・利用者別 今回も、午前が午後の利用者を上回った。
- ・車道左側走行率 今回(22.5%)は、前回(22.0%)と同様の水準である。
 なお、午前 (21.9%)は、前回 (20.5%)の 1.1 倍の水準である。
 また、午後 (23.2%)は、前回(24.4%)と同様の水準である。
- ・子乗せ自転車 今回(23.8%)は、前回(22.4%)の 1.1 倍の水準である。
 なお、同自転車における同乗者あり(40.5%)の場合でのヘルメット着用率は、77.4%(週平均は、70～84%の範囲で推移)である。
 今回(77.4%)は、前回(80.5%)とほぼ同様の水準である。
- ・電動自転車 今回(33.6%)は、前回 (31.8%)の 1.1 倍の水準である。
- ・危険運転行為 上位 3 件別では、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] の順である。
(違反行為を含む) 一方、下位 3 件別では、[ジグザグ運転・脇見運転・車道中央走行] の順である。

なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(739 件)の 6 割弱(418 件)を占める形となった。

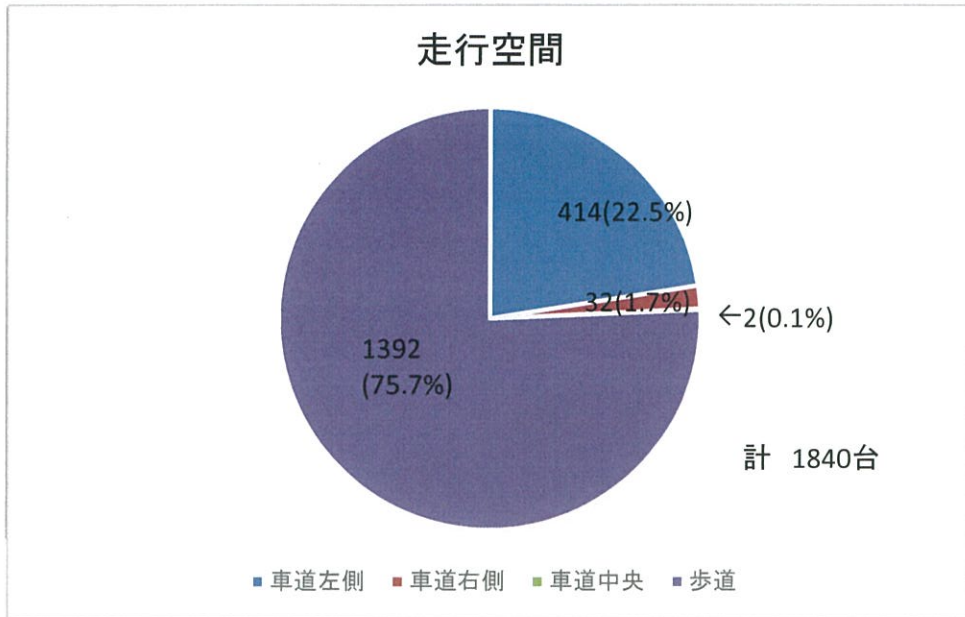
(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

また、利用者全体(1840 名)における危険運転行為(違反行為を含み 739 件)の比率は、割合上(*2)では、38%となっている。

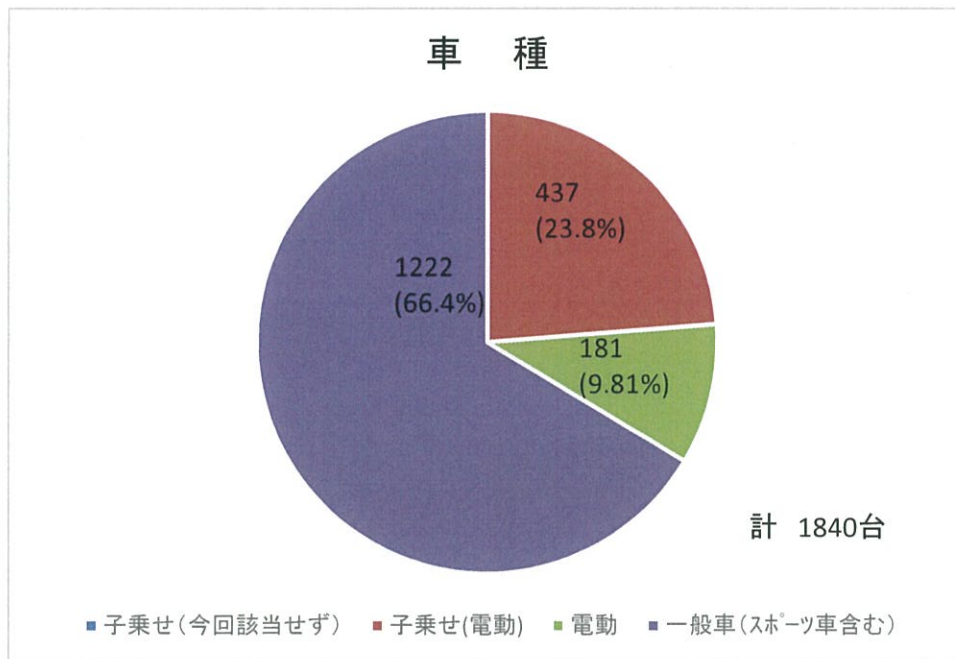
*2 実際は、1 名で複数の危険運転行為等を実施している件(46 件)も含まれるため

なお、今月は、新たに梯子持ち運転が発生した。

今回の雨天時のデータは、傘さし運転者(計 1 人)に対し、合羽着用者(計 17 人)で 17 倍であった。調査期間は、3 日間であった。

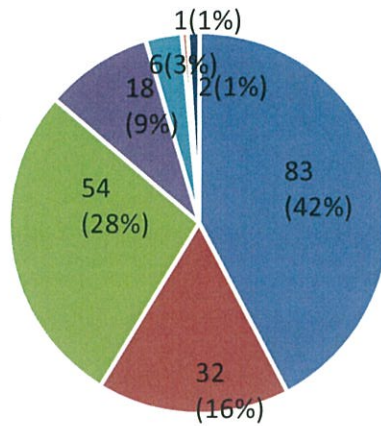


調査期間 10/1～31



調査期間 10/1～31

違反運転行為



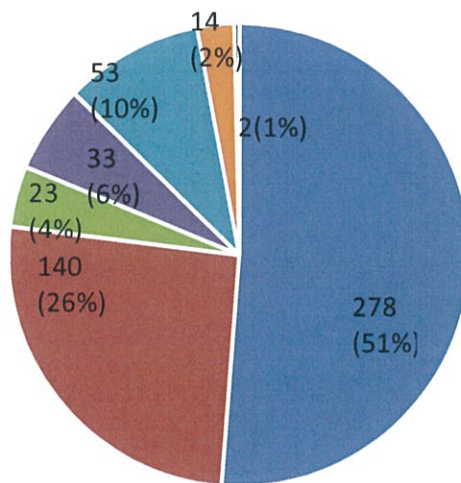
計196件

- 片手運転 *1 ■ 車道右側 ■ スピード出し過ぎ ■ ジグザグ運転
- 並走 ■ 斜め横断 ■ 車道中央

調査期間 10/1~31

*1 内15件 携帯電話を使用中の運転

危険運転行為



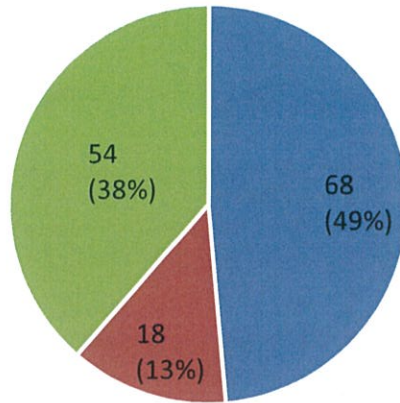
計 543件

- 肩に荷物 ■ ハンドルに荷物 ■ 立ち漕ぎ *1
- 子乗せ後部席に荷物掛け ■ 過積載 ■ 脇見運転
- その他

調査期間 10/1~31

*1 比率内訳: 上り坂15・下り坂8

違反運転行為(歩道上)



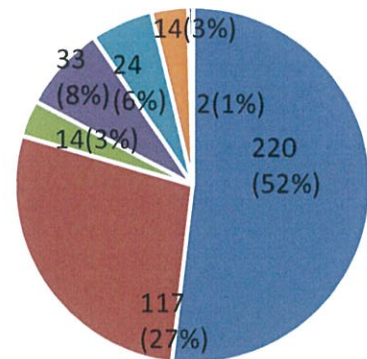
計 140件

■ 片手運転 *1 ■ ジグザグ運転 ■ スピード出し過ぎ

調査期間 10/1~31

*1 内13件 携帯電話を使用中の運転

危険運転行為(歩道上)

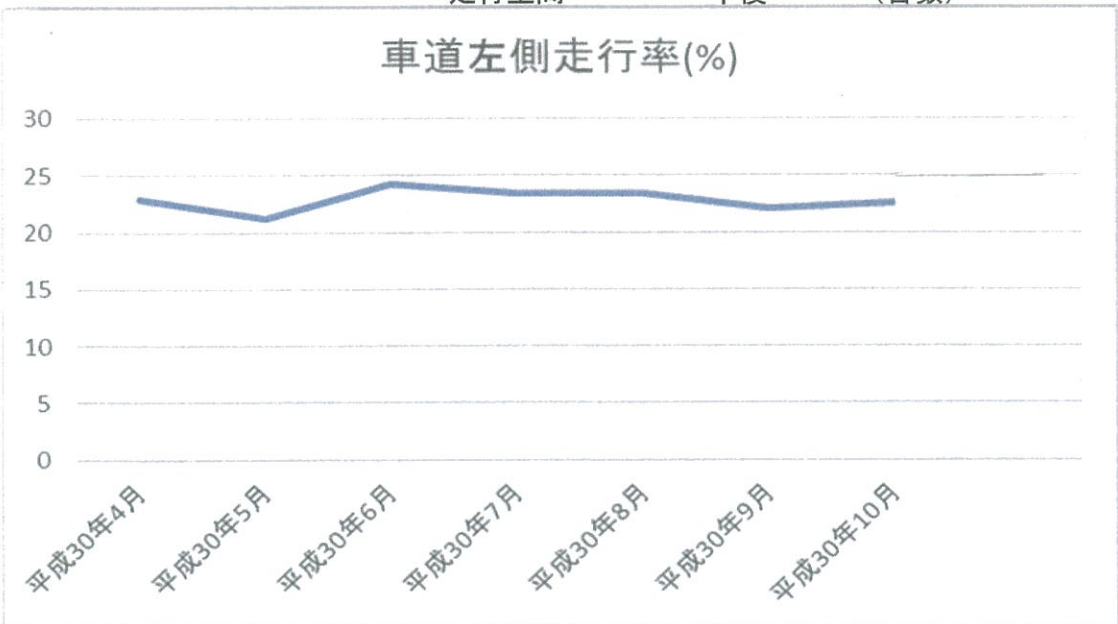
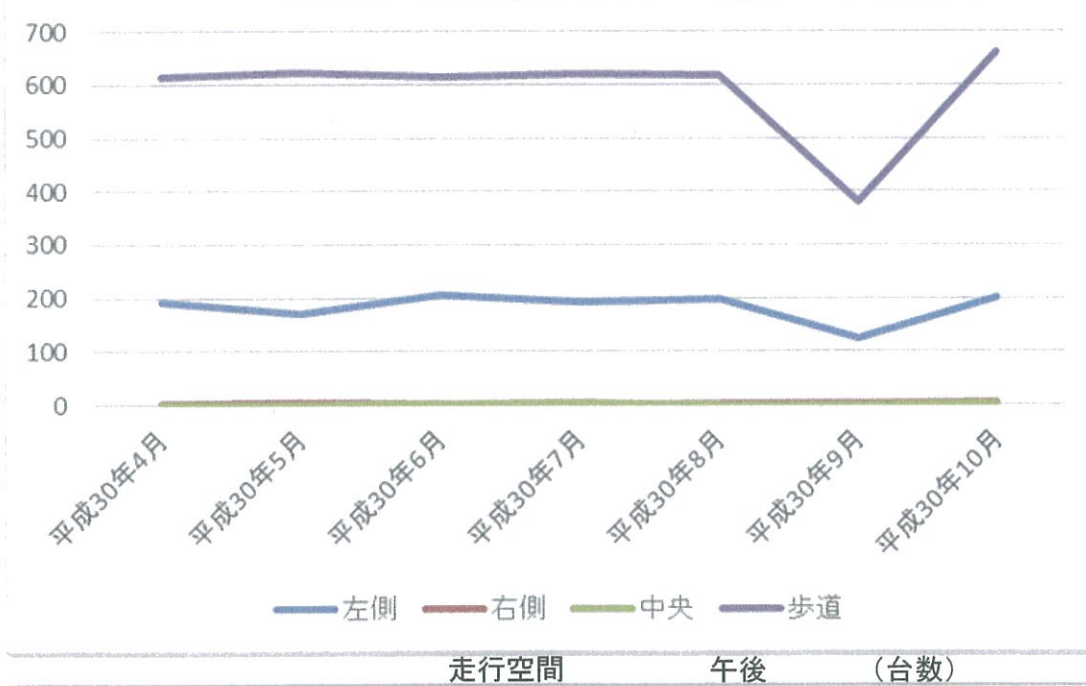
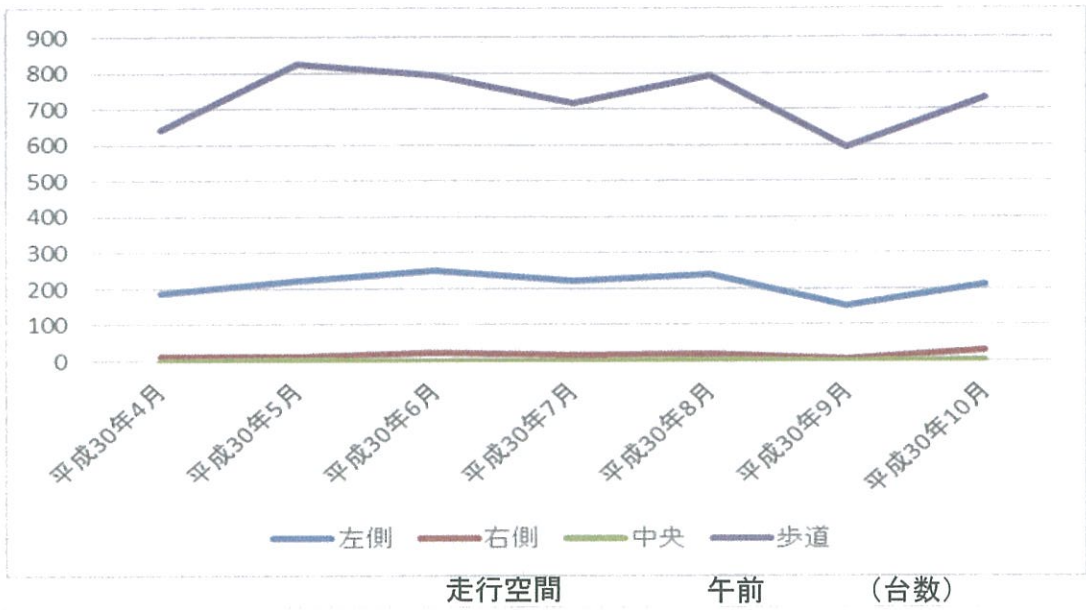


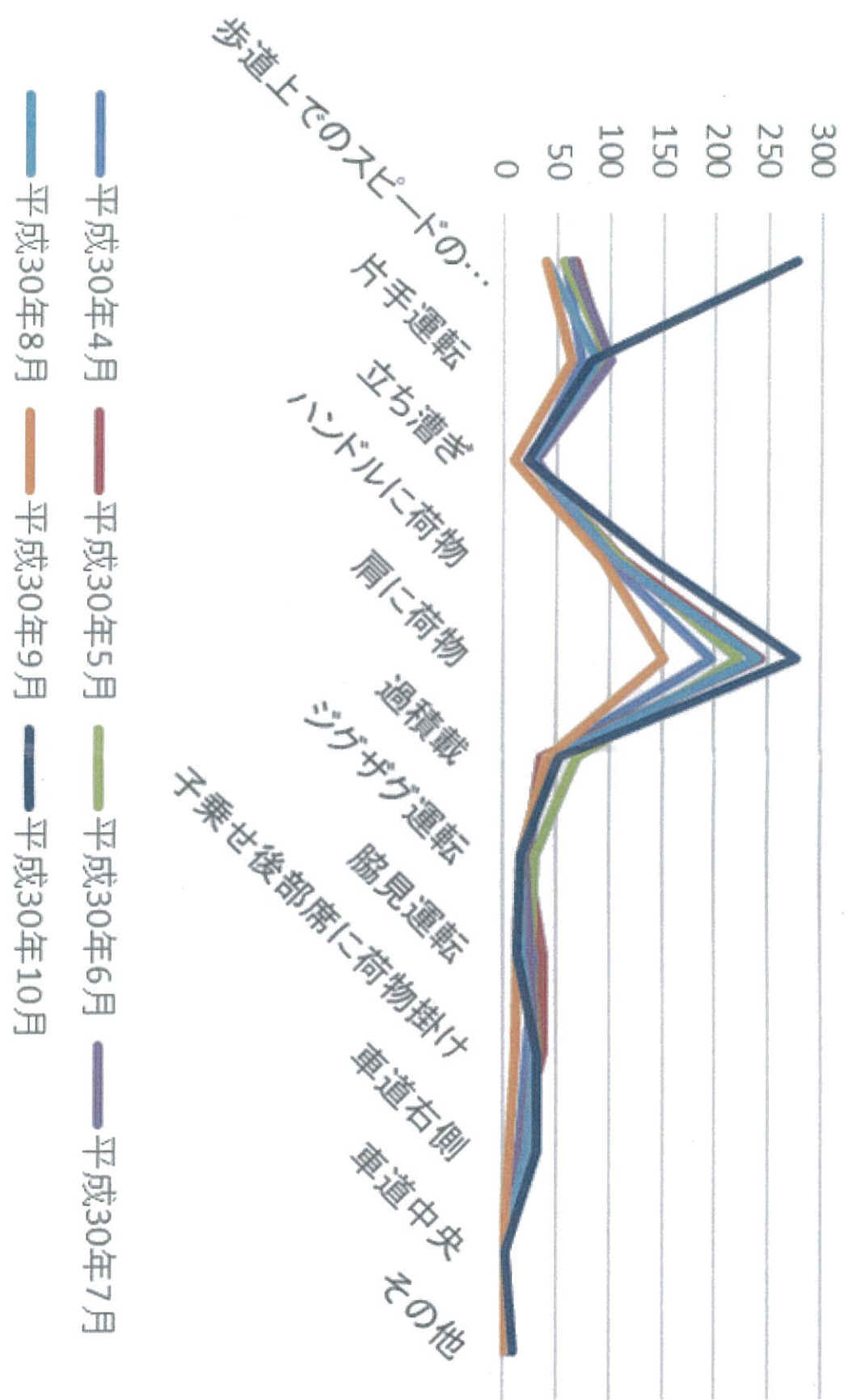
計 424件

■ 肩に荷物 ■ ハンドルに荷物 ■ 立ち漕ぎ *1
 ■ 子乗せ後部席に荷物 ■ 過積載 ■ 脇見運転
 ■ その他

調査期間 10/1~31

*1 比率内訳: 上り坂12・下り坂2





危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)

自転車利用実態定点調査報告（B地点）

（一財）日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成30年 10月 26日
[午前]9:00～10:00/ [午後]14:00～15:00

調査場所 ・ 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から70m程の上り坂)

概要 ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り4車線及び歩道:幅員3.1m
[一部歩道橋橋脚部分1.5mあり])
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道	← } ↑	対象外 対象 エリア
	←直進・右折レーン		
	←直進レーン		
	←左折レーン		
	←左折レーン		
	歩道		
	白金幼稚園		

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査結果表

No.	走行空間			車種	雨天	危険運転行為		
	左側走行	中央走行	歩道走行			違反行為	危険行為	その他
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

調査日時:	平成 年 月 日 日 時
天気:	天候
調査時間:	～

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、14%であり、また、車道中央走行率は、20%であり、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の6割強を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、車道中央走行(20件)・肩に荷物(10件)・片手運転/立ち漕ぎ(各5件)・ハンドルに荷物(2件)・過積載/子乗せ後部席に荷物掛け(*1)(各1件)の順となっている。

*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の10/25)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(14.3%)に対し、前回(14.3%)と同様の水準である。

なお、午前(14.5%)は、前回(12.9%)の1.1倍の水準である。

また、午後(13.8%)は、前回(20.0%)の7割の水準である。

なお、午前の上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・15%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・22%)の7割の水準である。

また、午後の上り地点(14%)に対し、下り地点(25%)の6割の水準である。

・子乗せ自転車

今回(30%)は、前回(27%)の1.1倍の水準

上り地点(30%)に対し、下り地点(18%)の1.7倍の水準

なお、同自転車における同乗者あり(45%)の場合でのヘルメット着用率は、77%である。

今回(77%)は、前回(64%)の1.2倍の水準である。

さらに、ヘルメット着用率の上下線での比較として、上り地点(77%)に対し、下り地点(86%)の9割の水準

・電動自転車

今回(48%)は、前回(38%)の1.3倍の水準である。

上り地点(48%)に対し、下り地点(28%)の1.7倍の水準である。

・危険運転行為 上り地点の[車道中央走行・肩に荷物・片手運転]に対し、下り地点では[肩に荷物・ハンドルに荷物・過積載]であり共通項目は、肩に荷物の1件となっている。

(違反行為を含む)

また、利用者全体(98名)における危険運転行為(違反行為を含み44件)の比率は、割合上(*2)では、42%となっている。

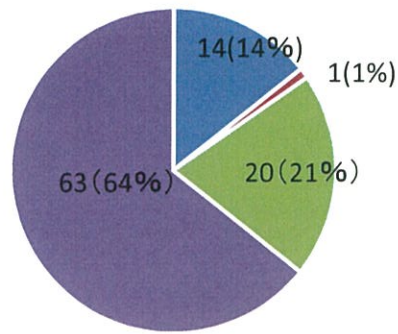
*2 実際は、1名で複数の危険運転行為等を実施している件(3件)も含まれるため

上り地点(42%)に対し、下り地点(41%)と同様の水準

なお、中央走行者については、基本、電動自転車を使用していない。

さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から道路中央を走行していたが、4車線での中間(両隣が2車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。

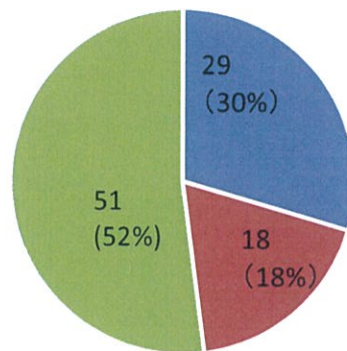
走行空間



計 98台

■ 車道左側 ■ 車道右側 ■ 車道中央 ■ 歩道

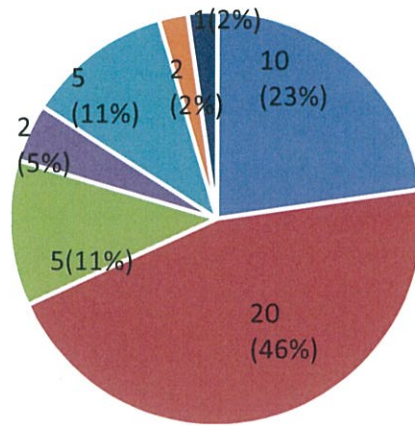
車種



計 98台

■ 子乗せ(電動) ■ 電動 ■ 一般車(スポーツ車含む)

危険運転行為(違反行為含む)

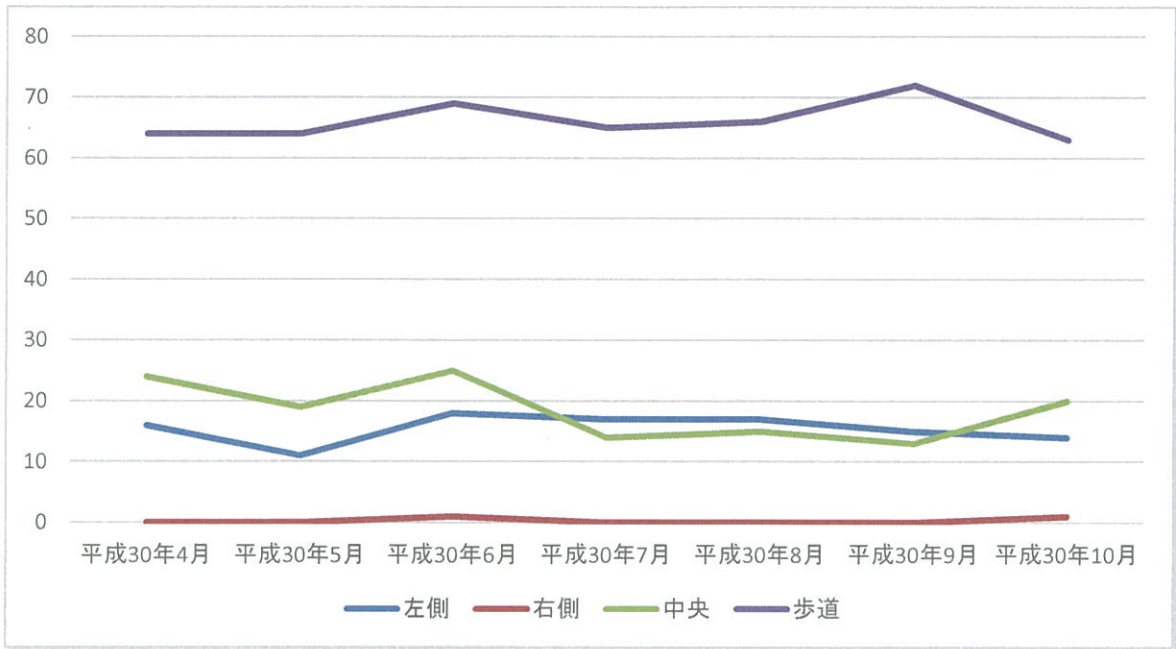


計 44件

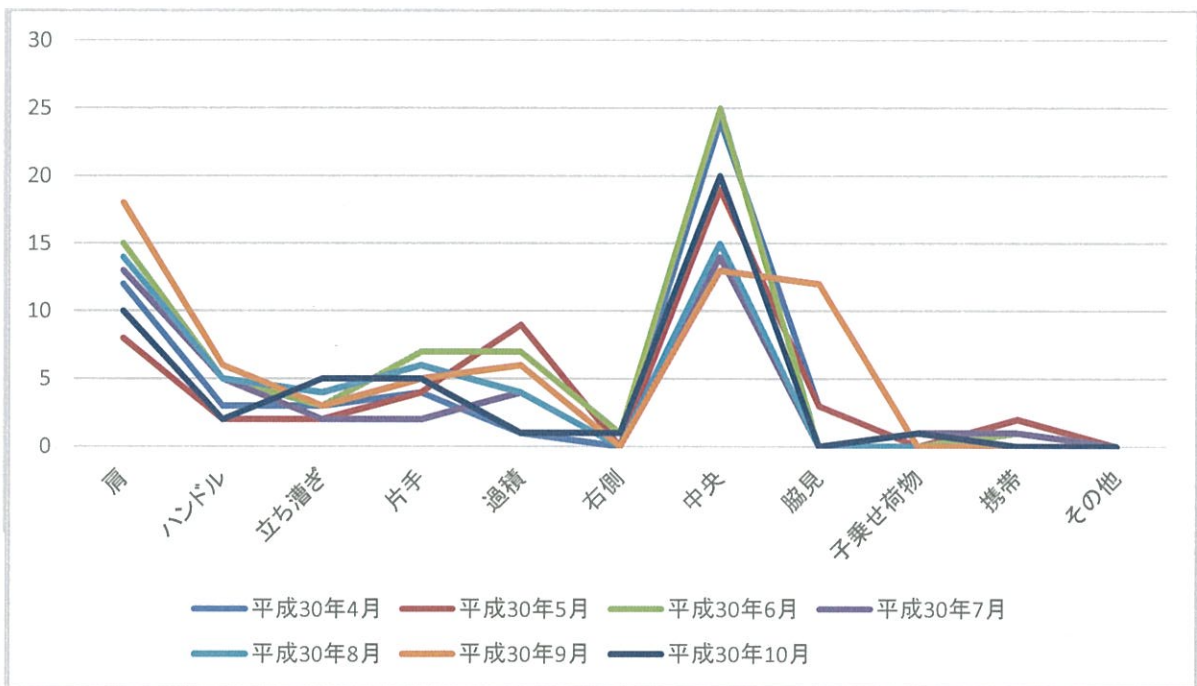
- 肩に荷物
- 車道中央
- 片手運転
- ハンドルに荷物
- 立ち漕ぎ
- 子乗せ後部席に荷物掛け
- 過積載

車道左側走行率(%)





走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)